



2024年12月16日

各 位

会社名 株式会社 梅の花
代表者名 代表取締役社長COO 鬼塚崇裕
(コード:7604 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 管理部門管掌 増村政信
(TEL 0942-38-3440)

2025年4月期第2四半期(中間期)業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2024年6月14日に公表いたしました2025年4月期第2四半期(中間期)の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年4月期第2四半期(中間期)(2024年5月1日~2024年10月31日)の連結業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想値(A)	14,328	14	△83	△78	△13.70
今回実績(B)	13,855	△133	△223	△166	△19.05
増減額(B-A)	△472	△147	△140	△87	
増減率(%)	△3.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期(中間期)実績 (2024年4月期第2四半期)	14,071	43	△1	287	35.93

2. 差異の理由について

2025年4月期第2四半期(中間期)の連結業績につきましては、外食事業、テイクアウト事業において台風による臨時休業や営業時間短縮、出店先の休業及び外販事業での大口取引の失注により売上高が予想値を下回りました。営業利益及び経常利益については、原材料価格・包材・光熱費等の上昇が想定よりも下回ったことや各経費のコントロールを実施したものの、売上高の減少の影響を大きく受けました。

親会社株主に帰属する中間純利益については、投資有価証券売却益を計上したものの予想値を下回りました。

なお、2025年4月期第3四半期以降は、忘新年会需要や行楽需要等により売上高が増加するとともに11月以降に価格改定を実施していることにより、営業利益も回復すると見込んでいるため、現時点において2025年4月期連結業績予想について変更はありません。

今後、修正が必要になった場合は速やかに開示いたします。

以上